

大阪府立高等学校教育環境改善事業審査委員会における審査結果の概要

事業の概要

事業の目的 生徒の学力向上及び府立高等学校が行う、夏季休業中を中心とした多様な取り組みの推進を図ること等を目的に、府立高等学校の普通教室等に空気調和設備を導入することにより、室内を適温に保つためのサービスを提供する。

事業の範囲 府立高校の普通教室等への空気調和設備の設計、工事施工、13年間にわたる空気調和設備の提供、維持管理業務及び空気調和設備の使用にあたって必要となるエネルギーの調達を一括して行うサービス提供業務。

事業期間 契約締結の日から平成29年3月まで

事業の対象 府立高校147校の普通教室等3,502室
(普通教室[64㎡]換算...3,767室相当)

審査の概要

大阪府立高等学校教育環境改善事業審査委員会
 委員長 吉田 治典 京都大学大学院工学研究科教授
 委員 岸 道雄 立命館大学政策科学部助教授
 委員 津川 広昭 御堂筋法律事務所弁護士

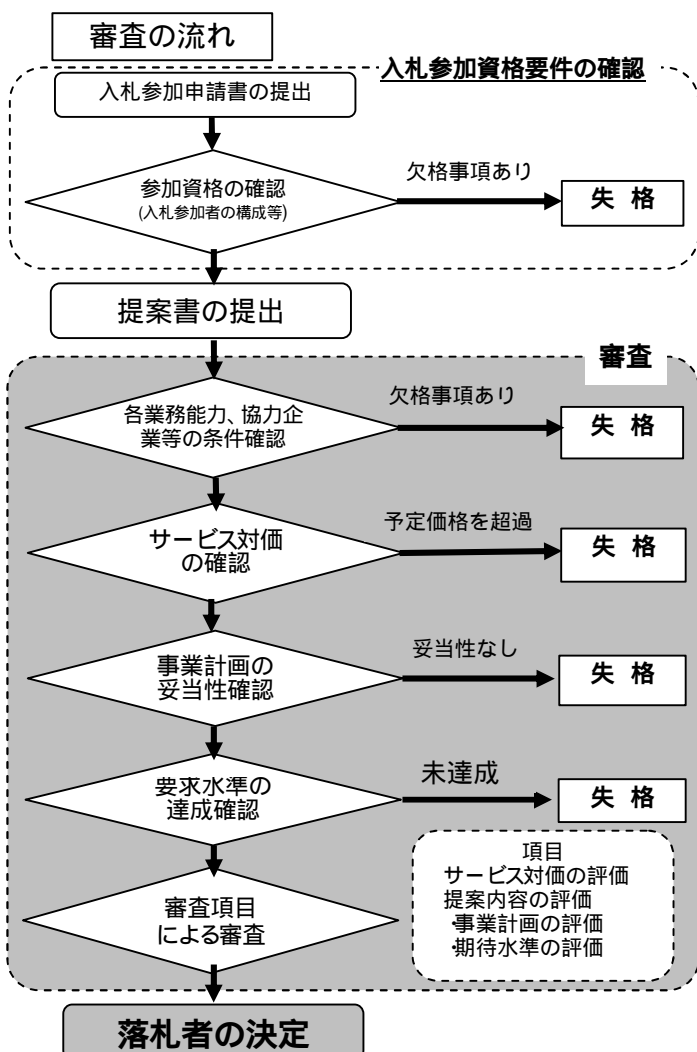
審査の視点
 経済性(価格等)のみならず、事業計画の安定性とともに入札する空気調和設備の内容、維持管理・運用方法等について、機能性、環境性等の各面から専門的かつ詳細に評価を行う。

審査において重視する点
 提示条件に沿った上で、より優れた提案が行われていること。

資金の効率的かつ効果的な使用が図られること。
 優れた品質管理のもとに、期限までに確実に工事を完成し、適正な維持管理・運営ができること。

設計・工事期間および13年間の長期にわたり、円滑に本事業の継続が図られること。

審査方法
 落札者選定基準に従い、サービス対価と提案内容を総合的に評価する。



審査の結果

大阪瓦斯(株)・関西電力(株)グループの提案を優秀提案とした。
審査の対象 大阪瓦斯(株)・関西電力(株)グループ(代表企業：大阪瓦斯(株))
入札資格要件の確認 入札資格要件を満たしていることを確認
審査の内容 各業務能力、協力企業等の条件、サービス対価、事業計画の妥当性及び要求水準の達成状況について確認

審査項目による審査結果
 大阪瓦斯(株)・関西電力(株)グループによる提案は、927.3点となった。

項目(配点)			評価点
サービス対価の評価(800.0点)			800.0
提案内容の評価 (200.0点)	事業計画の評価(50.0点)	事業の安定性(50.0点)	30.0
		機能性(40.0点)	19.6
	期待水準の評価 (150.0点)	施工性(10.0点)	8.4
		管理・運用(40.0点)	28.7
	環境性(60.0点)	40.6	
計(1,000.0点)			927.3

評価のポイント

サービス対価の評価

・提案価格は、18,330百万円(税抜)であった。
 (債務負担行為額...20,019百万円[税抜19,066百万円]、予定価格...18,360百万円[税抜])

提案内容の評価

事業の安定性

・事業実施にあたり組成が予定されている特別目的会社(SPC)の資金調達にあたっては、構成企業である大阪瓦斯(株)及び関西電力(株)が責任をもって支援するという提案内容となっている。

機能性

・メンテナンスの少ない空冷ヒートポンプ方式を採用するとともに、室内温度を均一化するため、教室1室あたり室内機2台を配置し、学校教育現場に対する配慮がされている。
 ・事務室に集中コントローラーを設置し、スケジュールタイマーで運転を管理できるなど、操作性を向上させた提案内容となっている。
 ・室内機の運転時間を計測・監視できるシステムの導入により、適正な運転の確保が期待できる。

施工性

・設計時に統一した内容となるよう共通仕様書を作成し、設計内容を工事実施者に確実に伝えることにより、均一な品質の確保が期待できる。
 ・学校教育活動への影響を軽減するため、可能な限り工事を長期休暇中に行うこと等により、施工上の安全性の確保が期待できる。

管理・運用

・学校ごとに設計者と異なる工事監理者を配置するとともに、第三者機関による統一的な指導及び確認を行うことなどが提案されており、高水準の工事監理品質が期待できる。
 ・維持管理業務に関して、迅速な対応で府内一円をカバーしている。また、24時間遠隔監視システムを一部採用するなど評価できる。
 ・規格品の空調機器を導入することにより、部品交換等、迅速な対応が期待できる。

環境性

・全熱交換器の導入やガスヒートポンプ方式、氷蓄熱方式の採用により、環境負荷の低減が期待できる。
 ・グリーン購入法に適合した機器を導入し、年間約900kg(約21%)のCO₂排出抑制を行うこととしている。
 ・定期点検のほか、学校の要請に応じた維持管理を行う体制とするなど、省エネルギー運転を担保できるような提案が行われている。
 ・月一回の検針によるチェックをもとに、マニュアルに基づいた指導を行うなど、適正運用に向けた取り組みも提案されている。

コミッションク

・設計・施工・工事監理・維持管理までを一貫して担当する第三者のコミッションングオーソリティの設置が提案されており、評価できる。

今後のスケジュール

・平成15年7月中旬 : 契約締結 工事着工
 ・平成16年6月 : サービス提供開始